

第1学年 道徳科 授業構想シート

授業者 田中 千映

本実践の主張点	「生命尊重」と「個性伸長」の内容項目を扱った教材で単元を組むことで、自分の存在の素晴らしさや長所に目を向けることができ、より一層前向きに生活しようとする道徳的心情が身に付けられるであろう。
---------	--

1. 単元名 じぶんのすてきをみつけよう ～ぼくっていいな・わたしっていいな～

2. 1年B組の子ども

<p>入学して半年、子どもたちは学校・学級生活にもすっかり慣れてきている時期である。自分らしさを出せるという安心感もある反面、一人一人の中に、「〇〇君は授業中の発表がすごいよね」「〇〇ちゃんはできることが多いけど、ぼくは・・・」といった固定された友達の姿や自分の姿も見られる頃であり、友達の活躍する姿や自分の上手くない姿に、自分の短所に目を向けがちになる。また、子どもたちの道徳科の発言をよく聞いてみると、自己の体験をもとにした発言が多く見られる。他教科・他領域・日常生活において同様の体験をしておくことで、自己の体験とつなげながら考えることができるようにしたい。</p>
--

3. 何ができるようになるか

探究力	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な視点から考えようとする力 ・自分なりのよりよい生き方について判断や表現しようとする力
省察性	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの道徳的価値理解について、自分の生活と結び付けて振り返ったり、自己の生き方を修正したりしようとする力

4. 何を学ぶのか

① 単元の目標

<p>自分のよさ（存在の素晴らしさや長所）に気づき、自分のよさに目を向け、自分に自信を持ち前向きに生活しようとする心情を育てる。</p>
--

② 教材の価値

<p>「2. 1年B組の子ども」でも述べたが、固定された友達の姿や自分の姿も見られる頃である。そのため、自己有用感や自己肯定感の低い子どもは、「きっとやってもできない」「自分なんて・・・」と思いがちである。そこで、子どもたちには、自己有用感や自己肯定感を高めたいと考え、道徳科においては生命尊重と個性伸長の内容項目を扱った教材を関連させて単元を組む。生命尊重の内容項目においては「自分の存在の素晴らしさ」、個性伸長の内容項目では、長所や得意な事に目を向けていくことができると考える。</p> <p>自分の存在の素晴らしさや長所に気づくことができれば、自己有用感や自己肯定感が高まり、より一層前向きに生活していきたいと思える子どもたちになるのではないかと考える。</p>
--

③学年間・教科間のつながり

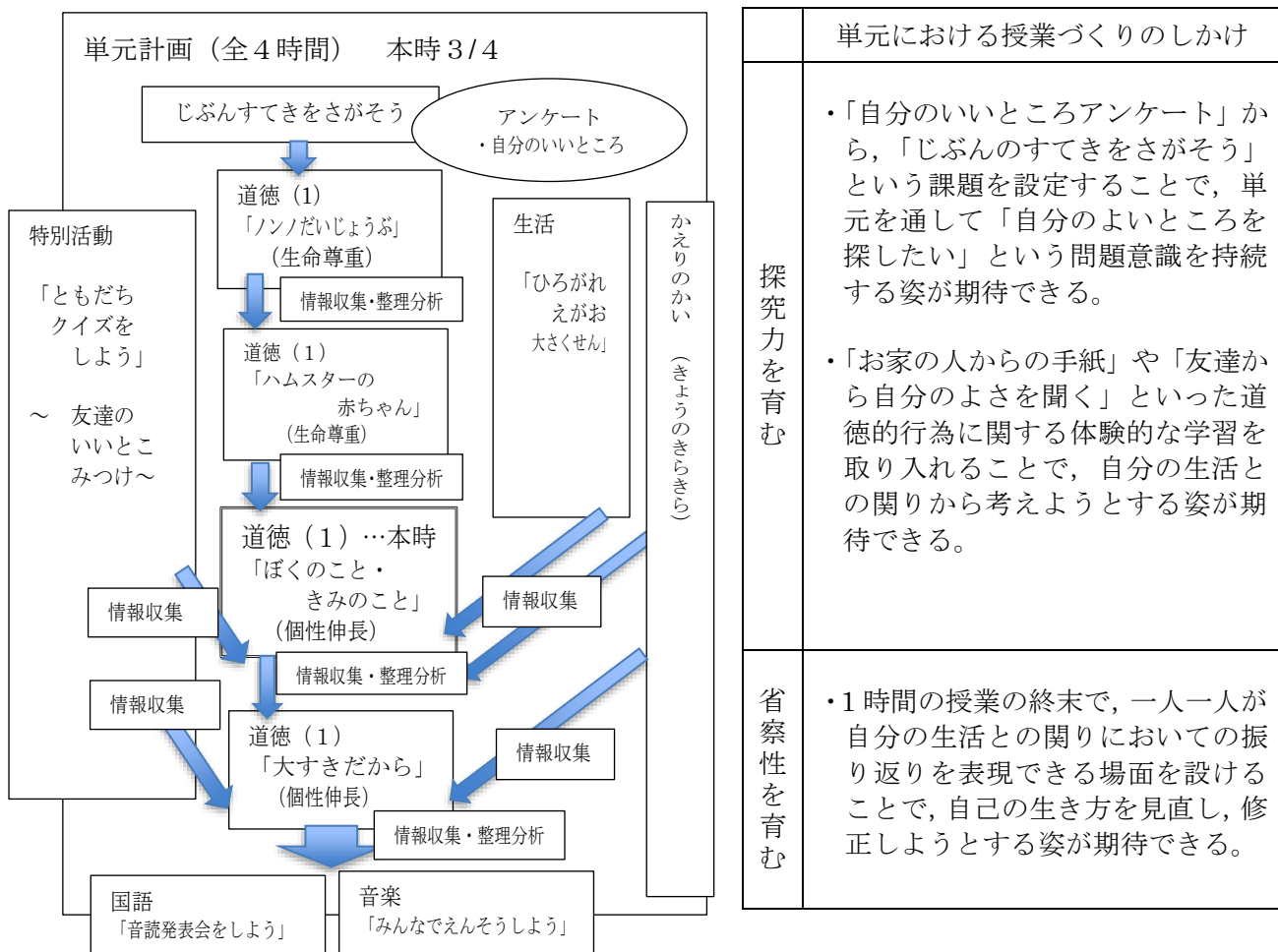
本単元では、道徳科と特別活動・生活科を関連付ける。自分自身を客観視することが十分できるとは言えないこの時期の子どもたちにとって、自分のよさに気付くのは他者からの評価によるものがほとんどである。そのため、生活科「ひろがれえがお大きくせん」で、お家の人からの自分の頑張りを認めてもらうコメントをもらったり、特別活動「ともだちクイズ」で友達のよいところを見つけたりする活動を取り入れる。そうすることで、自分の長所により多く気付くとともに、自分のよさを実感することができると思う。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる つなげる まとめる 広げる 予想する 見方を変える

②学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程



6. 何が身に付いたか

<p>多面的・多角的な見方</p>	<p>自分自身との関わりの中で深める</p>
<p>・様々な視点から考えようとしている。</p>	<p>・自分の生活と結び付けて振り返ったり、自己の生き方を修正したりしている。</p>

道徳科学習指導本時案

授業者 田中 千映

日時：令和元年11月3日（日）第2校時（10：10～10：55）

対象：第1学年B組 30人

場所：1年B組教室

教材名：「ぼくのこと きみのこと」（出典 学研 みんなの道徳 1年）（A－（4）個性の伸長）

本時の主張点	自分の長所を友達に言ってもらったときの気持ちをふりかえることで、自分の長所に目を向けていきたいという心情を育てることができる。
--------	---

1. 本時の構想と学習課題について

本時は、本単元の道徳科の3/4時に位置している。第1時より「じぶんのすてきをみつけよう」を学習課題に設定し、学習を進めてきている。第1時と第2時では、生命尊重の内容項目を扱い、自分が存在するだけで素晴らしいことに気づき、自分の存在を大事にしていこうという思いをもち始めている。本時では、個性伸長の内容項目を扱い、「自分の長所」にも目を向けさせていく。

本時の教材「ぼくのこと きみのこと」は、主人公の「りく」が、自分や友達の長所を知っていて、教材の中で、「ねえ、きみのよいところもおしえて。」と投げかけている。主人公「りく」の言葉から、「じぶんのよいところをみつけよう」を学習課題に、自己の長所について考えさせたい。しかし、この時期の子どもたちは、自分自身を客観視することが十分できるとは言えないため、友達から自分の長所を聞く活動を取り入れる。また、自分の長所を友達に言ってもらったときの気持ちを振り返り、自分の長所に目を向けることの意味や価値を考えさせたい。そうすることで、自分の長所にもっと目を向けていこうとする心情を育てることができると考ええる。

2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

本時では、「自分のすてきなところ（長所）はどこだろう」と、他教科・他領域・日常生活の体験とつなげて探そうとしたり、友達に自分のすてきなところ（長所）を積極的に教えてもらおうとしたりする姿を探究的な学びの姿と捉える。また、自分のすてきなところ（長所）を友達に言ってもらった気持ちをふりかえる時間を設ける。その場面で省察性が働くと考ええる。「自分にももっといいところがあったんだ」「いいところを言ってもらおううれしい」「ほめてもらった感じがしてうれしい」等、自分のよさに目を向けることの意味や価値を再認識することで、「自分のすてきなところ（長所）をもっと探していきたい」という探究的な学びつながるであろう。

3. 本時で活用・発揮したいこれまでの学び

本時に至るまでに、道徳科では、「ノンノンだいじょうぶ」「ハムスターの赤ちゃん」（ともに内容項目は生命尊重）で、元気に生活できることの素晴らしさや自分がお家の人から大事にされ育ってきたことに気づき、自分の存在をこれからも大事にしていきたいという思いが育ってきている。同時に、自分のすてきなところを知ること喜びを感じていると考ええる。本時でも、「自分のよいところ（長所）はどこだろう」と、自分の長所を進んで見つけようとするところに、これまでの学び「自分のよいところがわかったら嬉しい気持ちになる」「自分のすてきなところを探すのは楽しい」等の活用・発揮を期待する。また、生活科「ひろがれえがお 大作戦」では、家族のために自分にできることを実践し、お家の方からその頑張りや成長についてのコメントをもらい、実践したことを友達に紹介したり、特別活動「ともだちクイズをしよう」では、友達のよさを見つかりしている。自分のよいところを考える場面や友達によいところを聞く場面において、お家の方からのコメントを思い出そうとする姿や「ともだちクイズ」でいいところをワークシートに記入した活動を思い出そうとする姿を期待したい。

4. 本時の目標

一人一人に長所があることや自分の長所に気づき、自分のよさに目を向けようとする心情を育てる。

5. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
<p>1. 「ぼくのこと・きみのこと」を読んで話し合い、本時の学習課題を知る。</p> <p>○「りく」「ゆうこ」「たくま」のよいところとはどんなところだろう。</p> <p>○本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>じぶんのよいところを見つけよう。</p> </div> <p>2. 自分のよいところ考えたり、探したりしながら、感じたことを話し合う。</p> <p>○じぶんのよいところはどんなところだろう。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%; color: blue;"> <p>・手を挙げられるよ。・こけた人を助けられるよ。 ・友達にゆずるよ。・そうじを頑張っているよ。 ・本をよむところ。・やさしいところ。 ・やきゅうを頑張るところ。 ・何でも頑張るところ。</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 40%; color: blue;"> <p>・う～ん、どこだろう。 ・わからないな。</p> </div> <p>○友達に自分のよいところをきいてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなにやさしい。・いつも元気。 ・おもしろい。・そうじを頑張っている。 ・説明が上手だよ。・話をよく聞いている。 ・ドッジボールが上手。・跳び箱が得意。 ・字が上手。・物知り。・声大きい。 ・よく食べる。 <p>◎友達に自分のよいところを言ってもってどんなことを思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいところをきくとうれしい。 ・よいところを見つけてくれて、ありがとう。 ・よいところがいっぱいあってうれしい。 ・なんか自信がわいてくる。 ・もっとよいところを増やしたい。 ・友達のよいところももっと見つけて言ってもらいたい。 <p>3. 学習を振り返り、思ったことや考えたことをワークシートに書く。</p>	<p>・よいところと共に、それぞれにできないことや苦手なことがあることも押さえる。</p> <p>・ワークシートに、見つけた自分のよいところを書く。</p> <p>・ワークシートに、友達から聞いた自分のよいところを書く。</p> <p>・特別活動で友達のいいところを見つけて書いたカードも見ることができるようにする。</p> <p>・自分のよさに目を向けることへの喜びを感じさせることで、自分のよいところ（長所）をもっと探していきたい」という心情につなげたい。</p> <p>・よいところを言ってもらってどんな気持ちになったかや、これからどうしていきたいかを書けるようにする。</p> <p>評自分の長所に目を向けようとしている。</p>